

各会場の参加議員

◇角田一議長、相馬芳佳副議長は、両会場に出席

大麻公民館：11月14日（木）						
総務文教	◎裏君子	○清水直幸	齊藤佐知子	高間専逸	本間憲一	
生活福祉	◎諏訪部容子	○徳田哲	猪股美香	奥野妙子	宮本忠明	
経済建設	◎岡英彦	○高橋典子	石田武史	稲守耕司	三角芳明	
議会運営	◎島田泰美	○内山祥弘				

◎委員長 ○副委員長

江別市民会館：11月17日（日）						
総務文教	◎裏君子	○清水直幸	(内山祥弘)	佐藤美佐子	鈴木誠	
生活福祉	◎諏訪部容子	○徳田哲	佐々木聖子	芳賀理己	吉本和子	
経済建設	◎岡英彦	○高橋典子	島田泰美	干場芳子		
議会運営	◎島田泰美	○内山祥弘				

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会の活動報告

1. 議会運営委員会の概要

- ・定数 10人
- ・任期 2年
委員長：島田泰美 副委員長：内山祥弘
委員：裏君子・齊藤佐知子・鈴木誠・諏訪部容子・高橋典子・芳賀理己・宮本忠明・吉本和子
- ・議会運営委員会は、議会の運営が円滑に行われるように議事の順序・進め方、その他議会運営上必要な事項に関して協議しています。

2. 議会運営委員会で現在協議中の議会運営に関する検討課題

■予算・決算の審査方法について

現在は、予算及び決算の議案が提出されるごとに設置している予算、決算特別委員会を、任期を通じて設置される常任委員会方式に変更しようとするものです。これにより、予算と決算の審査が一体的、連続的になされることになり、議会のチェック機能が高まるものとなります。今後は、委員構成や審査方法などについて協議することになります。

■議会モニター制度について

議会モニター制度とは、議会の運営等に関し、市民などから募集する議会モニターによって、多様な意見を広く聴取し、議会運営等に反映させようとするものです。

今後は、実施するかどうか、実施するとした場合の具体的な制度設計等を協議することになります。

■議会の情報化についての研究・検討

議会の情報化についての研究・検討は、議会の運営におけるICTの有効活用を進めようとするものです。具体的には、タブレット端末や議会情報のグループウェア等を導入することにより、ペーパーレス化による経費や紙資源の削減はもとより、議員・議会活動の効率化、活性化をより一層図ろうとするものです。

■江別市議会における業務継続計画（BCP）について

江別市議会における業務継続計画（BCP）とは、地震等の災害時において「議員」「議会」「事務局職員」の行動基準を各段階に応じて定めることで、行動のルールを明確化し、迅速かつ継続的な議会活動を確保することなどを目的として策定しようとするものです。現在、他市の策定状況などを調査しながら協議を行っています。

■陳情審査における陳述機会について

現在、当市議会では、議会基本条例に基づき、請願審査においては請願者の希望により陳述機会を持つことができることとなっています。同じく、陳情審査についても陳述機会を付与すべきかどうかについて協議を行っています。

■請願及び陳情の表決について

現在、当市議会では、請願及び陳情の表決として、採択及び不採択の他に趣旨採択、一部採択という方式をとることもあります。採択及び不採択以外の方式については、法上の根拠が必ずしも明確でないことから、今後行うべきかについて協議を行っています。

総務文教常任委員会の報告

1. 総務文教常任委員会の概要

- ・定数 9人（現在は8人）
- ・任期 2年
委員長：裏君子 副委員長：清水直幸
委員：内山祥弘・齊藤佐知子・佐藤美佐子・鈴木誠・高間専逸・本間憲一
- ・所管部署
総務部・企画政策部・会計課・教育委員会・監査委員・選挙管理委員会・公平委員会・他の常任委員会の所管に属しない事項

2. 総務文教常任委員会の所管に関わる主な市の事業

■北海道胆振東部地震の災害検証

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の災害対応について、行政機関、市内各種団体、専門家などの外部委員による検証委員会を設け検証した。

「平成30年北海道胆振東部地震 江別市災害検証報告」

- ・課題解決提言として、情報伝達、非常電源確保、避難所の設置と運営、給水体制など
- ・今後の対応案として、自治会や大学との連携、避難所の設置などの災害対応を見直していく予定

このほか、市では総合防災訓練や避難所運営訓練の出前講座などを実施。

■生涯活躍のまち整備事業（日本版*CCRC）

江別市では「生涯活躍のまち構想」を策定し、市民が市外に転出することなく生涯にわたって安心して暮らし続け、若年層や障がい者などと交流できる「共生のまち」を目指している。

- ・「生涯活躍のまち整備事業」構想に基づき、旧札幌盲学校跡地（大麻元町）の一部を拠点として、市選定委員会で選定した事業者（社会福祉法人）が地域交流拠点施設、介護施設、サービス付き高齢者住宅、障がい者就労訓練グループホーム、保育所などの整備を行うものです。令和3年3月に完成予定。

*米国で普及したCCRC（Continuing Care Retirement Community）が発祥。
健康時から介護時まで継続的ケアを提供するコミュニティを意味する。

■ラグビーワールドカップに関連した取り組み

- ・今年、日本で世界3大スポーツイベントの一つとされている『ラグビーワールドカップ2019日本大会』が開催された。
- ・江別市は、世界屈指の強豪国「オーストラリア（通称：ワラビーズ）」の試合前の公認チームキャンプ地となった。
- ・日本では「一生に一度」とも言われているこの大会の認知度を高め、機運を盛り上げていくため、江別市においても、今年は様々な取り組みを行ってきた。

生活福祉常任委員会の報告

1. 生活福祉常任委員会の概要

- ・定数 8人
- ・任期 2年
委員長：諏訪部容子 副委員長：徳田哲
委員：猪股美香・奥野妙子・佐々木聖子・芳賀理己・宮本忠明・吉本和子
- ・所管部署
生活環境部・健康福祉部・消防本部・市立病院

2. 生活福祉常任委員会の所管に関わる主な市の事業

■子育て世代サポートえべつ

安心して子どもを産み育てることができるまちを目指して、令和元年8月から「子育て世代サポートえべつ」を、保健センターと子育て支援室に設置し、妊娠、出産、子育てを切れ目なく支援しています。

※令和元年8月から新たに取り組んでいる事業

- ・産婦検診費用の助成 出産後間もない時期のお母さんの心と体の健康状態を確認するための産婦健康診査の費用を助成します。
- ・産後ケア お母さんと赤ちゃんの生活リズムをつくるために、産科医療機関などで心と体のケアや育児相談などが受けられます。（自己負担額があります）
- ・地域あそびのひろばでの親子健康相談 気軽に立ち寄って自由に遊べる「地域あそびのひろば」で、親子健康相談を行います。保育士や保健師など、専門のスタッフがお話をお聞きしています。

■健康都市推進事業

江別市は2017年4月1日に「健康都市宣言」を行いました。

すべての市民が生涯を通じて健康に過ごせる健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、えべつ未来づくりビジョンの基本目標である「だれもが健康的に安心して暮らせるえべつ」を目指すものです。

昨年は、市民の食習慣の実態を把握し健康づくりに役立てるために、市民の皆様にご協力をいただき、酪農学園大学と共同で「江別市民の食と健康に関する実態調査」を実施しました。その結果、江別市民の1日あたりの推定野菜摂取量の平均は、262gで国が目標としている350gにおよそ90g不足しています。

生活習慣病予防に向けた野菜摂取推進の取り組みとして簡単野菜レシピを紹介したり、野菜の惣菜、サラダ等の販売をしている店舗や野菜たっぷりメニューの提供をしている店舗などを「えべつベジタブルライフ協力店」として登録していただいています。また健康チェック等体験型イベントを実施して、市民の健康意識の向上に努めています。

経済建設常任委員会の報告

1. 経済建設常任委員会の概要

- ・定数 8人
- ・任期 2年
委員長：岡 英彦 副委員長：高橋典子
委員：石田武史・稲守耕司・島田泰美・相馬芳佳・干場芳子・三角芳明
- ・所管部署
経済部・建設部・農業委員会・水道部

2. 経済建設常任委員会の所管に関わる主な市の事業

■都市と農村交流事業

農業生産者と消費者との交流を支援し、直売所などのグリーンツーリズム関連施設の利用者をふやすことで、地産地消や農村地域の活性化を目指している事業です。

収穫体験バスツアー、直売所スタンプラリー、野菜作り講習会、農家のかあさん土曜市といったイベントの実施に加え、農畜産物の加工品新商品開発の支援などを行っています。

■総合特区推進事業

東アジアにおける食の研究開発・輸出拠点を北海道につくる、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区を北海道や札幌市などと連携して推進している事業です。

大学が行う健康食品を開発するための臨床試験、企業の機能性食品開発、海外での市場開拓・販路拡大を目指す企業への支援などを行っています。

■住宅取得支援事業

親と同居や近居（市内で親世帯と子世帯それぞれが所有する住宅に居住）のための住宅取得費用、親と同居するためのリフォーム費用、子どもが2人以上いる世帯の住宅取得費用を支援する事業です。10万円または20万円の基本補助額に、市内事業者の利用などの加算条件が加わると最大50万円まで補助されます。

平成28年度から開始された事業ですが、平成30年度までの過去3年間で、584世帯が利用し、1,065人が転入しています。

■江別の顔づくり事業

野幌駅周辺の利便性を向上し、駅を中心とした暮らしやすいまちづくりを目指す事業です。鉄道高架事業、駅周辺再開発事業、道路整備事業、商業等活性化事業などが含まれています。平成18年度から事業が開始されましたが、令和元年度で一部の道路整備を除き完了することとなります。



本日はご参加いただき、誠にありがとうございました
 今後とも、市民に開かれた市議会を目指して参りますので
 よろしくお願ひいたします

次回の江別市議会定例会のお知らせ

11月27日 / 水曜日	令和元年第4回定例会初日
11月28日 / 木曜日	(常任委員会開催予定)
11月29日 / 金曜日	(常任委員会開催予定)
12月2日 / 月曜日	(常任委員会開催予定)
12月3日 / 火曜日	(常任委員会開催予定)
12月4日 / 水曜日	(常任委員会開催予定)
12月6日 / 金曜日	一般質問
12月9日 / 月曜日	一般質問
12月10日 / 火曜日	一般質問
12月12日 / 木曜日	定例会最終日

※日程は変更される場合があります。詳しくは議会事務局 (011-381-1051) へお問い合わせください。